

第2回 霊性シンポジウム イグナチオの霊性の広がり

「信徒の霊性一日々の生活を整えるために」

カトリック荻窪教会信徒
イエズス会霊性センター「せせらぎ」スタッフ
鈴木 隆 (すずき・りゅう)

私のミニストリー

- エピソード① 「私は、いのちをいただいて、生きている。」
1966年夏、フランスの避暑地ニースの海岸で
- エピソード② 「洗礼式を宣教の場としよう。」
1977年秋、上智大学旧2号館のマタイス研究室で
- エピソード③ 「信仰は知識に先立つ」
1979年春、四谷の居酒屋でのゼミの打ち上げで
- エピソード④ 「あなたのすべてを、家族ともども、私にささげなさい」
1981年夏、マニラ郊外での、CLCのアジアの養成コースで
- エピソード⑤ 「いつでも緊急のニーズに応えることができるように」
1981年秋、荻窪の鈴木家での「炎のCLC」の例会で、
- エピソード⑥ 「自分の食い扶持（ぶち）は自分で稼ぐ」
1982年秋、長崎教区事務所で里脇浅次郎枢機卿との面談で
- エピソード⑦ 「霊的花束は、睡眠不足の肉体へのカンフル剤」
1987年秋、京都、河原町教会で行われたNICE1で
- エピソード⑧ 「いのちを懸けて教会に人を招くワンチャンス」の宣教」
1989年春、新潟県知事、君健男氏の葬儀で
- エピソード⑨ 「『教養のない無学な人』ではありませんでした」
2013年秋、フィリピンセブ島の小高い丘の上のレストランで

エピソードの中で示された信徒の霊性の特性

CLC（クリスチャン・ライフ・コミュニティ）の生き方

時世寸描